

1. 授業の概要(ねらい)

本講義では労働の文脈における人間の行動や心理に関する社会心理学の基礎的知見を学ぶ。
産業組織心理学 I では労働の文脈における“個人”の心理メカニズムを中心的に主に扱ったのに対し、産業・組織心理学 II では、“組織”や“集団”に関するテーマを中心的に取り上げる予定である。

2. 授業の到達目標

- ・職場における問題(キャリア形成に関することを含む。)に対して必要な心理に関する支援を身につけることができる。
- ・組織における人の行動について理解することができる。
- ・近年の労働環境を取り巻く社会問題について関心を抱くことができる。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験及び各回で出題する確認問題で総合的に評価する。
確認問題の提出が少ない場合には評価対象としない。
期末試験,確認問題いずれもLMSを使って提出をする。

4. 教科書・参考文献

参考文献

田中堅一郎 編 産業・組織心理学エッセンシャルズ ナカニシヤ出版
山口裕幸・芳賀繁・高橋潔・竹村和久 経営とワークライフに生かそう!産業・組織心理学 有斐閣

5. 準備学修の内容

各自取ったノートやLMSで公開しているスライドを読みなおして,前回までの学修内容を復習することを推奨する。

6. その他履修上の注意事項

2020年度はオンラインで実施する。資料は帝京大学の LMSを通して配布する。
オンラインで受講できる環境を整えておくこと。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 組織行動1: 集団の規範
- 【第3回】 組織行動2: 他者から受ける影響
- 【第4回】 組織行動3: 職場における協調
- 【第5回】 組織行動4: 職場における葛藤の解決1
- 【第6回】 組織行動5: 職場における葛藤の解決2
- 【第7回】 リーダーシップ1: リーダーシップの理論
- 【第8回】 リーダーシップ2: 権力, ハラスメント
- 【第9回】 集団意思決定1: 集団による問題解決
- 【第10回】 集団意思決定2: 合議がかかえる問題
- 【第11回】 集団のダイナミクス1: 集合知
- 【第12回】 集団のダイナミクス2: 人間関係がもたらすメリット
- 【第13回】 集団のダイナミクス3: 社会的ネットワーク
- 【第14回】 まとめ
- 【第15回】 期末試験